

ジュエリー 男性も楽しむ時代

ジェンダーレスが定着、日常の装いに

パールや宝石などを使ったジュエリーが、男性の間でも流行している。日常のファッションとして採り入れる動きが広がっており、若者には「資産価値」の高さもあって受け入れられているようだ。

(松沢奈々子、編集委員・後藤洋平)

6月、パリ・メンズファッションウィークでは、パールのネックレスをした男性ゲストの姿が目立った。こうした光景は最近、珍しくない。

流行のきっかけとなったのは、5年前。2019年6月のパリ・メンズファッションウィークで、コムデギャルソンが男性用のパールネックレスを発表。ランウエーでは男性モデル全員がパールを身につけて歩いた。

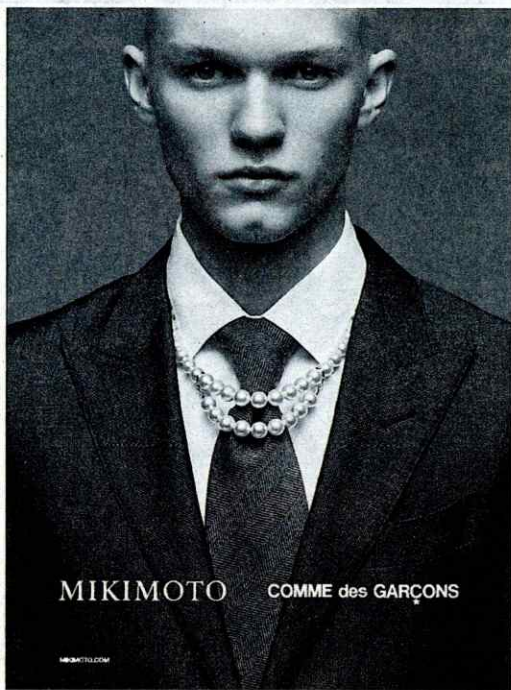
ショーで使ったネックレスを貸し出したミキモトと協業し、翌20年2月にチェーンを重ねたネックレスなどを発売。大きな反響を呼んだ。関係者は「ここから男性がパールのネックレス

を着用するスタイルは、普通のこととして広がった」と話す。

人気はパールにとどまらない。

イタリアのブランド、フレガモによると、2023年代を中心に、女性用のアクセサリーを自用に購入する男性が増えているという。2万円台後半から7万円台の商品が人気で、特にブランドを象徴するモチーフのピアスが売れている。韓国の男性スターが身につけている写真をSNSで見つけて訪ねてくる客も多い。

同ブランドなどでアクセサリーを探しているという金融機関に勤める都内の男性(40)は「洗練されたデザ



コムデギャルソンとミキモトの協業パールの広告にジュエルコムデギャルソン提供

服より資産価値あるファッション 若者受け入れ

インが多く、女性用でも気にならない」と話す。普段は結婚指輪だけをつけているが、ユーチューブやSNSを通じて独創的なデザインで人気のブランドなどを知り、ジュエリーに興味を持ったという。

中世やルネサンス期の国王や貴族など、男性が富の象徴や魔よけなどとして、ジュエリーを身につける文化は過去にもあった。しかし、無彩色のスーツに代表されるダンディズムが隆盛した19世紀、男性がネックレスやイヤリングを身につける文化は消え去っていった。

ファッションジャーナリ

性や年齢をつなぐパール 温かく、華美すぎず

コロナ禍でオンライン会議が当たり前になり、首や耳周りの装飾が男女問わず注目されるようになりました。



私物のパールネックレスを着用するキャンベルさん。120粒の長さがあり、3重にまで巻くことができる。本人提供

日本文学研究者 ロバート キャンベルさんの場合

かつて男性が権力や富の象徴として着用していたパールは、その後は女性の代表的な装飾になり、現代では一般の男性が身につけても不自然ではないと受け止められつつあります。人々のジェンダー意識が変化してきた今、様々なジェンダーが交わる流域に存在し、性や年齢をつなぐものだと感じています。

私のパールへの第一歩は数年前。シンプルな1連で120粒の養殖アコヤ真珠のネックレスをミキモトで購入しました。パールには温かい雰囲気があるし、華美すぎない。憎らしいほどクワイエット・ラグジュアリー(上質さを打ち出すスタイル)の極みです。男性には少し勇気を持って発色の良い服と合わせてみてほしいですね。(談)

